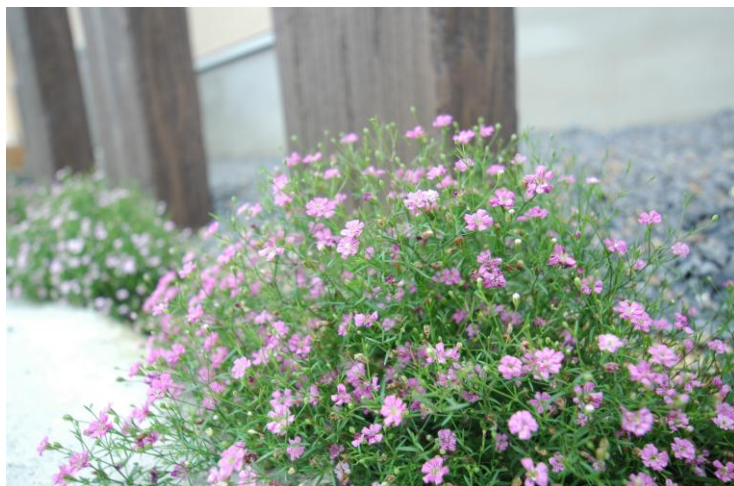


HAPPY GARDEN GARDEN LIFE

～庭作りを楽しむために～



Palette パレット

〒799-0112
愛媛県四国中央市金生町山田井97-3

TEL 0896-56-3959
FAX 0896-29-5433
e-mail : palette@joy.ocn.ne.jp
URL : <http://www.palette2012.com/>

庭つきの家に住むことは多くの人々のあこがれです。
これも庭には私たちの生活にとって欠かせない何かがあるからではないでしょうか。
庭には「眺める庭」「くつろぐ庭」「主婦の仕事場としての庭」「子供たちの憩いの庭」等、
いろいろな役目や目的があります。

我が家に帰り、リラックスした気分で庭を眺めるとき、一日の疲れを忘れ心地よいひと時を過ごせる重要な役割を果たしてくれるのが、時にはみずみずしい緑であり、鮮やかな紅葉であり、美しい花や実なのです。自然の緑や花が与えてくれる癒しは現代の私たちにとってなくてはならないものになっています。

今、余暇を楽しむ時代です。自分たちだけの楽しい庭を作ってみませんか？

庭の手入れや管理などについて簡単にできることをまとめてみました。ぜひ素敵な庭づくりの参考にしてみてください。

★庭木・芝生の水やり

11月～2月	ほとんど必要ありません
3月～6月	雨が降らない日は2～3日に1度あげましょう
7月～9月初	朝・夕たっぷりあげましょう
9月～10月	雨が降らない日は2～3日に1度あげましょう

★芝生の手入れ

POINT!!

①刈り込みを適度におこないましょう

特に夏季は成長が早いので1週間に一度くらい刈ったほうがよいでしょう
雨の後や、朝露の残っている時はきれいに刈れないので芝生の乾いている時に刈ります。

- ※4cm伸びたら必ず芝刈りを
- ※見苦しくなるまえに必ず！

②雑草をとりましょう

春から夏にかけては10日に一度は除草しましょう。
雑草を放っておくと芝生が雑草に負けて芝生がなくなってしまいます。
除草剤を使う時は芝生に害を与えないように注意が必要です。

③肥料をやりましょう

刈り込みをすることで栄養分を失ってしまいます。そこで肥料が欠かせなくなります。芝を青くするためにはチッ素肥料を使います。これと同時に病気に対する抵抗性を増すためにリン酸やカリ肥料を使います。
肥料は雨や露で濡れているときにやると薬害にかかりやすいため晴れた日の日中にやりましょう。

④水やりをしましょう

芝生は湿っているより少し乾燥しているほうがよく生長しますが蒸散作用をしているため夏の暑い時期には水やりをしないとしおれてしまいます。夏は日中の高温時は避けて乾燥している日の朝か夕方に打ち水をするようにさっとかけます。

⑤目土かけ

日本芝は根茎の節から根や芽が出てその芽が根茎となり繁殖します。節から芽や根が出やすいように土をかけて適度な温度と湿度を保つ必要があります。また、芝生を平らにする目的もあります。目土の量は根茎がかくれる程度にします。

困った...

●赤サビ病

日本芝に発生する代表的な病気で気温が低く湿度が高いと発生します。葉に黄褐色の斑点ができます。原因はチッ素のやりすぎや日当たりが悪くカビがつくからです。肥料を控えたり日当たりをよくしましょう。ダイセン水和剤を散布しておけば防げます。

●ヨトウ虫

地面のしたについて葉の根を荒らします。駆除には硫酸合剤が効きます。

●ブラウン・パッチ

西洋芝に発生する代表的な病気で、高温多湿時期に発生します。芝分の表面がしおれてきてまわりが黒ずみはじめやがて枯れます。予防方法は赤サビ病と同じです。

<参考>

日本芝と西洋芝の違い

日本芝...張り芝で日当たりがよくないと育ちません

西洋芝...まき芝であるため日陰でも育ちます。

ただし、増えても平らにならず寿命は4~5年です。

★整定・剪定

果樹では1本の木に立派な果実を多く実らせることに重点をおいて枝を整えていくので「整定」といいますが、庭作りでは1本1本の庭木の姿をつくり庭全体をまとめていくところから「剪定」と呼んでいます。

<時期>

庭木も生き物ですからむやみにしてはいけません！！

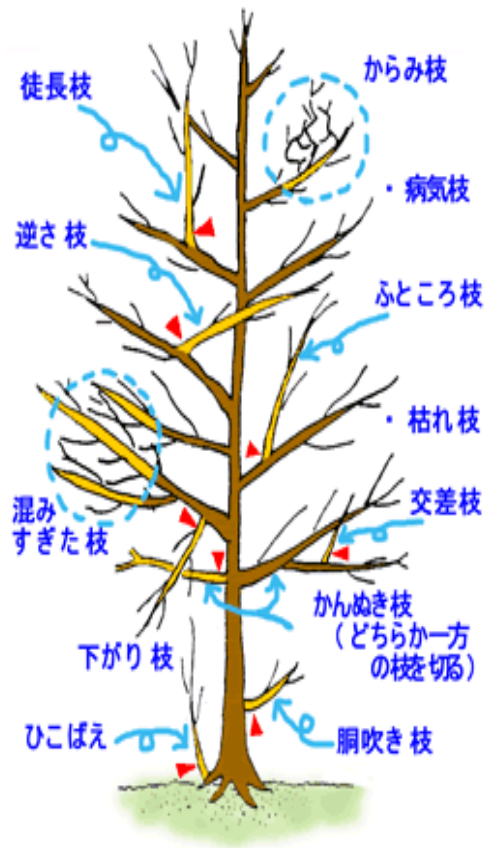


- 春**・・・ 休眠期から活動期に入るため一番変化の激しい季節
マツ類・・・「みどり摘み」4月下旬から5月中旬に
花木・・・ 花の終わった直後
※ただし花後結実する実ものは放任する
- 夏**・・・ 活動がもっとも盛んな時期
剪定しないで放任しておくとう樹形が乱れてしまいます。
常緑樹 } 6月下旬から7月
広葉樹 } これにより夏芽が伸びます。
針葉樹 }
花木・・・ 花の終わった直後
落葉樹・・・ 必要なし
- 秋**・・・ 初秋は避けましょう
「秋芽」をのばしてしまいこの芽が充実しないうちに寒さが訪れ
芽先を傷めてしまいます。
晩秋はもう活動しないのでOKです。
落葉樹・・・ 必要なし
常緑樹・・・ OK
- 冬**・・・ 切っても活動が始まらず姿を整えるには一番適しています。
常緑樹・・・ たくさん出ている小枝を整理して切り詰めて枝を整えます。
マツ類・・・ みどり摘み後に伸びた夏芽が葉を伸ばしているため
古葉(今年の葉)をきれいにもぎとり夏芽も2本ほど
残して他を切り取る作業を11月～12月に行いましょう。
花木・・・ すでに枝先に花芽をつけているので特に樹形を乱す枝のみ切れればよいです。
落葉樹・・・ 葉をすっかり落とし小枝の1本1本までわかるので作業しやすい。
からんでいる枝、不要な枝を思い切って剪定しましょう。
12～2月が適期



不要枝の名称

- ①下がり枝
下に向かって伸びている枝
- ②立ち枝
上向きに飛び上がるように出ている枝
- ③からみ枝
近くの枝に絡みつくように伸びている枝で
景観上最も好ましくない枝
- ④車枝
幹や太枝の1ヶ所から何本もの枝が
車輪のように出ているもの
- ⑤逆さ枝
枝は普通外側に向かって伸びますが
逆方向に伸びている枝で他の枝の
生育を妨げます。
- ⑥ふところ枝
樹幹が大きくなるに従い樹幹内部に残る
貧弱な小枝で放任しても2～3年で枯れる
しかし早めに切りましょう。
- ⑦徒長枝
枝の途中から元気よく伸びる枝で周囲の
枝の生育が阻害されます。
- ⑧ひこばえ
根元の地際や地中から伸びた元気のよい枝で
放任すると地上部が衰えてしまいます。
- ⑨胴吹き芽
太い幹の途中から元気よく萌芽する芽で
放任すると樹形だけでなく樹勢にも影響



※ 切る枝、残す枝をしっかりと頭にいれましょう！！

★病害の防除

庭木はもともと丈夫なものですが、風通しや日光が不十分なところではいろいろな病気もできます。代表的なものをまとめてみましたのでご参考下さい。

病名	発生時期	症状	防除法	被害樹木
サビ病	2月上旬～ 5月中旬	褐色の菌体が葉と葉の間にできる	4月上旬にジネブ水和剤400～500倍液を散布する	イブキ類 タケ類 バラ
赤星病	4月～6月	葉の表面に橙黄色で円形の斑点 葉裏には毛ばだった直径4-8mmの病斑が出る	ダイセン、マンネブダイセン500倍液 トップジンM水和剤1500倍液を発生初期に7-10日おきに2-3回散布 2月に石灰硫黄合剤を予防的に散布	ホケ カリン リンゴ ナシ カイトウ
ウドンコ病	4月上旬～ 11月下旬	葉や新芽にうどん粉をかけたような白いカビが発生	発生時期にトップジンM水和剤1500倍液、ベンレート水和剤200倍液などを散布	ハナミズキ、バラ サルスベリ カエデ、モミジ
スス病	5月上旬～ 10月下旬	カイガラムシの排泄物に黒いススのようなカビがつく	カイガラムシを駆除してベンレート水和剤1000倍液を散布	マツ類 タケ類 庭木全般
モチ病	4月上旬～ 7月下旬	春期に葉や新芽がもちのように膨らむ	発生時期にダイセン水和剤500倍液、胴水和剤500倍液 ダニコール水和剤600倍液などを散布 冬期石灰硫黄合剤20-30倍液を2-3回散布	サツキ ツツジ ツバキ サザンカ
葉ふるい病	5月中旬～ 8月下旬	葉が黄色くなり落ちる ひどくなると葉枯れする	ジネブ水和剤500倍液を散布	マツ類 ビャクシン類
枝枯れ病	4月上旬～ 7月下旬	枝に暗褐色の斑点ができ枝をひと回りするとやがて枯れる	発芽前にダイセン水和剤500倍液 石灰硫黄合剤15-20倍液など散布	アオキ イチョウ カエデ、モミジ サクラ ヒノキ

★虫害の防除

害虫名	発生時期	症状	防除法	被害樹木
カイガラムシ	5月～9月	樹液を吸いその排泄物からスス病が発生し樹勢がだんだん弱る	幼虫発生時期にはカルホス乳剤1000倍液を散布 12-2月にマシン油乳剤20倍液を散布	サクラ ツバキ サザンカ モクレン シイ カシ
ダニ類	6月～9月	葉裏などにつき葉色が悪くなり落ちる。夏に発生	夏期にケルセン乳剤1000倍液 モスレタン水和剤2000倍液などを散布	イヌツゲ ツツジ クロマツ サクラ
アブラムシ	4月～ 10月下旬	新芽や若葉につき生育を悪くする。ウィルスを伝染させたりスス病を併発する	エストクス乳剤1000倍液 マラソン乳剤1000倍液 スミチオン乳剤1000倍液などを散布	バラ カエデ モミジ サクラ ハナモモ
ナメクジ	5月～10月	葉、枝、花などを食害する	夜行性なので夜間に捕殺するかナメキール粒剤をおいて誘殺する	庭木全般
アメリカンロトリ	5月中旬～ 9月中旬	雑食性で黒色の毛虫が食害する。都会の樹木に被害を与えている	幼齢期にスミチオン乳剤1000倍液 カルホス乳剤1000倍液 ティップレックス乳剤1000倍液などを散布	サクラ類
マツカレハ (マツケムシ)	4月中旬～ 5月下旬	春に枝先に大きな毛虫がつき食害する	秋に幹にワラ巻きして春に捕殺しスミチオン乳剤1000倍液 カルホス乳剤1000倍液などを散布	マツ類